

■沿革

平成13年8月	平成14年度の国土交通省重点施策として取り組むことを公表。
平成14年3月	米国のシーニックバイウェイプログラムの実施状況を調査。日本と米国の制度運営上の社会環境の相違点を把握。
平成15年2月	「北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会」(委員長:石田東生 筑波大学教授 ※当時)を設置。試行期間での取り組みを検討開始。
平成15年4月	旭川-占冠ルート、千歳-ニセコルートの2つをモデルルートに指定。シーニックバイウェイの取り組みに賛同する地域活動団体を募集。
平成15年7月	活動団体の認定。32団体(平成16年には38団体)が認定され、シーニックバイウェイ北海道のモデルルートとしての活動をスタート。
平成16年9月	モデルルートで集中活動月間を実施。期間中景観ポイントや地域固有の情報を入手できるシーニックバイウェイ情報拠点を設置。アメリカ・バイウェイ・リソースセンターのヘンリー・ハンカ所長来日。モデルルートを視察。
平成16年10月	両ルートの活動団体メンバーが参加し、米国シーニックバイウェイの視察を実施。制度素案についてパブリックコメントを実施。
平成17年2月	「北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会」において報告書とりまとめる。
平成17年3月11日	シーニックバイウェイ北海道推進協議会設立。ルート提案の募集開始。
平成17年5月9日	支笏洞爺ニセコルート、大雪山・富良野ルート、東オホーツクシーニックバイウェイの3つが指定ルートとして、函館・大沼・噴火湾ルート、釧路湿原・阿寒・摩周ルートの2つが候補ルートとして登録される。
平成17年6月	正式ルート指定後、初の集中活動月間を実施。
平成17年9月	秋の集中活動月間を実施。
平成17年10月	米国シーニックバイウェイカンファレンスに参加。
平成17年11月	シーニックバイウェイ北海道の支援組織として「シーニックバイウェイ支援センター」が指定される。
平成18年2月	冬の集中活動月間を実施。
平成18年4月18日	宗谷シーニックバイウェイが指定ルートとして認定、南十勝夢街道、十勝平野・山麓ルート、萌える天北オロロンルートの3つが候補ルートとして登録される。
平成18年6月	「シーニックバイウェイ・トレジャーハント」の実施。
平成18年8月	「シーニックバイウェイ北海道みぢからはじまる地域自立」が発刊。
平成18年11月13日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ、函館・大沼・噴火湾ルートが指定ルートに認定される。
平成19年5月	「シーニックドライブマップ」の発刊。
平成20年5月12日	萌える天北オロロンルートが指定ルートとして認定、どうなん・追分シーニックバイウェイ、トカプチ雄大空間の2つが候補ルートとして登録される。
平成20年8月	シーニックの森づくりがはじまる。森の認定スタート。
平成21年5月13日	十勝平野・山麓ルートが指定ルートとして認定、札幌南シーニックバイウェイが候補ルートとして登録される。
平成22年5月17日	トカプチ雄大空間が指定ルートに認定される。
平成23年7月29日	南十勝夢街道および札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート(旧名:札幌南シーニックバイウェイ)が指定ルートとして認定される。

平成24年12月1日	Follow Me Japan Pte.Ltd.、(株)トヨタレンタリース札幌、北海道コカ・コーラボトリング(株)、札幌グランドホテルとの包括連携協定が締結される。
平成25年6月24日	層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ、天塩川流域ミュージアムパークウェイの2つが候補ルートとして登録される。(株)デンソーセールス 北海道支社、鶴雅グループ (株)阿寒グランドホテルとの包括連携協定が締結される。
平成27年12月21日	どうなん・追分シーニックバイウェイルートが指定ルートとして認定される。
平成27年3月	制度検討委員会(委員長:小林英嗣 北海道大学名誉教授)を設置。
平成27年9月	制度検討委員会とりまとめ。
平成28年8月	実施要綱・基本方針の改訂。
平成29年10月24日	シーニックバイウェイ北海道推進協議会初代会長 高向巖氏(前北海道商工会議所連合会会頭)が退任。新会長として、岩田圭剛氏(北海道商工会議所連合会会頭)が就任。天塩川シーニックバイウェイ(旧名:天塩川流域ミュージアムパークウェイ)が指定ルートとして認定される。(株)北海道日本ハムファイターズとの包括連携協定が締結される。
平成30年3月29日	地域と道路管理者の協働で道路景観の重点的保全を行う。シーニックバイウェイ「秀逸な道」の試行を開始。
平成30年11月5日	シーニックバイウェイ北海道推進協議会に東日本高速道路(株)北海道支社が新たに加わる。空知シーニックバイウェイ-体感未来道-が候補ルートとして登録される。(一社)北海道信用金庫協会、北海道地区「道の駅」連絡会、(株)知床グランドホテルとの包括連携協定が締結される。
令和元年9月20日	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイが候補ルートとして登録される。
令和3年4月19日	シーニックバイウェイ「秀逸な道」として、選定区間12区間、候補区間6区間が認定される。
令和3年7月15日	クリプトン・フューチャー・メディア(株)との包括連携協定が締結される。
令和3年10月	制度検討委員会(委員長:小林英嗣 北海道大学名誉教授)を設置。
令和4年12月22日	知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ(旧名:知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ)が指定ルートとして認定される。日高シーニックバイウェイが候補ルートとして登録される。
令和5年3月	制度検討委員会とりまとめ。
令和5年3月13日	特定非営利活動法人 北海道遺産協議会との包括連携協定が締結される。
令和5年7月	「秀逸な道」の看板の設置開始。
令和5年12月12日	実施要綱の改定。SOMPOひまわり生命保険(株)、北海道エネルギー(株)との包括連携協定が締結される。
令和6年10月16日	シーニックバイウェイ北海道が「2024年度グッドデザイン賞」を受賞。
令和6年12月9日	空知シーニックバイウェイ-体感未来道-が指定ルートとして認定される。大和リース(株)北海道支店との包括連携協定が締結される。シーニックバイウェイ「秀逸な道」として3区間が認定される。

■シーニックバイウェイ北海道推進協議会【構成団体・機関】

(一社)北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合会、(公社)北海道観光機構、(公社)日本観光振興協会北海道支部、(一社)日本旅行業協会北海道支部、(一社)日本自動車連盟北海道本部、東日本高速道路(株)北海道支社、北海道、林野庁北海道森林管理局、経済産業省北海道経済産業局、環境省北海道地方環境事務所、国土交通省北海道運輸局、国土交通省北海道開発局

■シーニックバイウェイ北海道【包括連携協定企業】

(株)トヨタレンタリース札幌、(株)グランビスタホテル&リゾート 札幌グランドホテル、北海道コカ・コーラボトリング(株)、Follow Me Japan Pte.Ltd.、(株)デンソーソリューション北海道支社、鶴雅リゾート(株)、(株)北海道日本ハムファイターズ、(一社)北海道信用金庫協会、北海道地区「道の駅」連絡会、(株)知床グランドホテル、クリプトン・フューチャー・メディア(株)、特定非営利活動法人北海道遺産協議会、SOMPOひまわり生命保険(株)、北海道エネルギー(株)、大和リース(株)北海道支店

■シーニックバイウェイ北海道【協力団体及び機関】

北海道農業協同組合中央会、北海道林業協会、北海道市長会、北海道町村会、(株)ACT NOW、総合商研(株)、(株)えんれいしや、(株)ゼンリン、パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)北海道社、青函フェリー(株)、くるま旅クラブ(株)

写真:「～確かな思い…もう迷わない～」mariko(シーニックフォト倶楽部会員)旭川市

【発行】シーニックバイウェイ北海道推進協議会 事務局

TEL:011-709-2311 詳しくは▶

シーニックバイウェイ北海道推進協議会

検索

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎

国土交通省北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課 / 建設部 道路計画課 2025.4



シーニックバイウェイ北海道 制度のご案内

美しい感動と出逢う道

シーニックバイウェイ(Scenic Byway)とは、景観・シーン(Scene)の形容詞シーニック(Scenic)と、わき道・より道を意味するバイウェイ(Byway)を組み合わせた言葉。地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取り組みです。平成17年よりスタート、現在15の指定ルート、2つの候補ルートがあり、約500団体が活動をしています。



シーニックバイウェイ北海道が「2024年度グッドデザイン賞」を受賞!
The following design is awarded GOOD DESIGN AWARD 2024



シーニックバイウェイ北海道オフィシャルマーク

地域の人たちが主体となって取り組む「美しい景観づくり」や「魅力ある観光空間づくり」の熱い心は訪れる人たちに感動のココロを呼びおこします。「心とココロ」が出逢う時「活力ある地域づくり」が動き出します。「道」をハートの形にしたオフィシャルマークは、いわば「シーニックバイウェイ制度の心」です。

「シーニックバイウェイ北海道」の概要

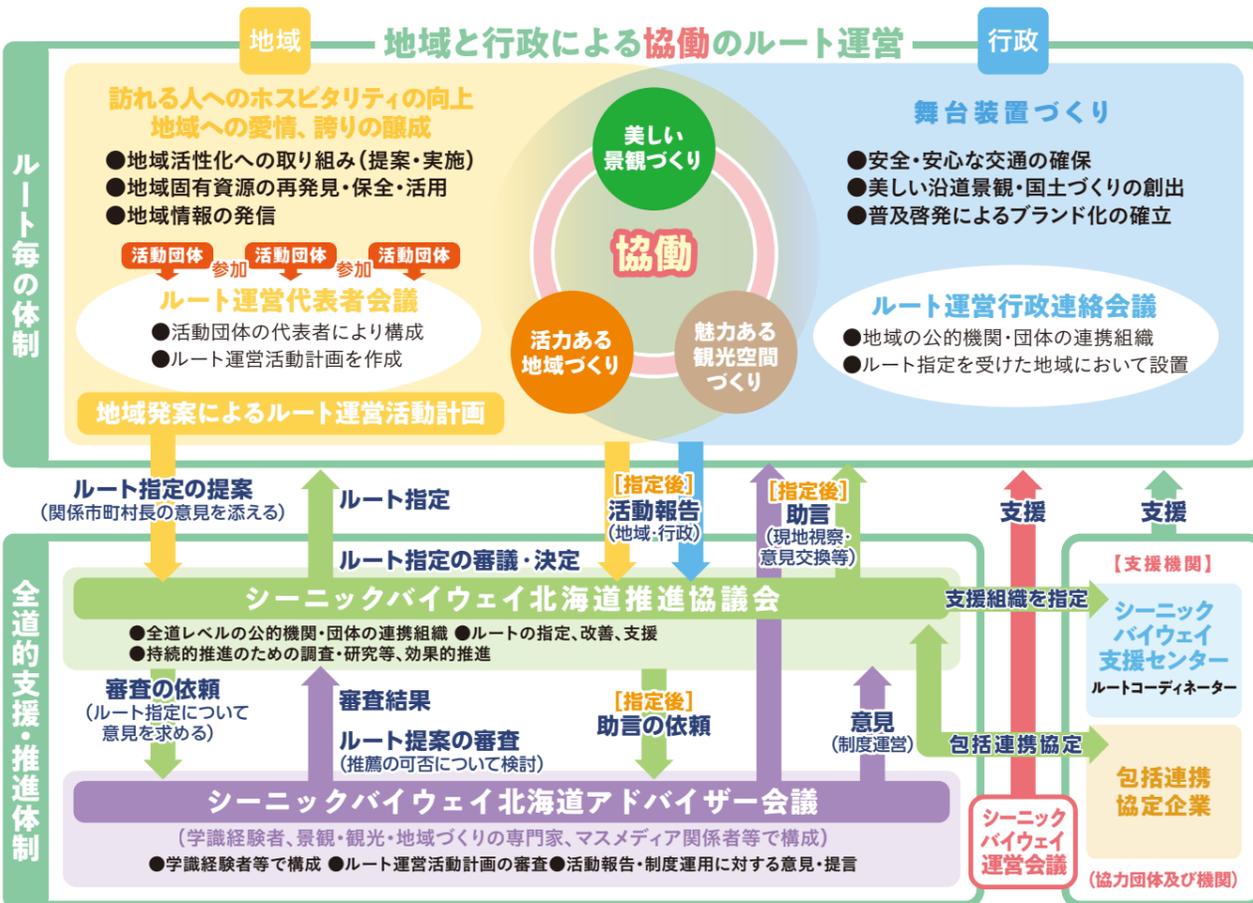
●「シーニックバイウェイ北海道」推進の基本方針

シーニックバイウェイ北海道は、北海道固有の景観、自然、歴史、文化、レクリエーション資源等の地域資源を最大限に活用し、競争力ある美しく個性豊かな北海道を実現することを目指しています。地域の発案に基づき、地域住民と行政が連携し、「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」を日々行っています。

競争力のある美しい個性豊かな北海道の実現

意義 ●地域への愛着・誇りの醸成 ●旅の快適性の向上、ストレスの少ないツーリング環境の形成 ●地域ブランドの形成

目標 ●交流人口の拡大 ●地域産業の振興 ●地域における雇用の拡大



●「シーニックバイウェイ北海道」の仕組み

シーニックバイウェイ北海道では、地域で組織されたルート運営代表者会議がルート運営活動計画を作成し、ルート指定の提案を行います。提案されたルートは、アドバイザー会議の意見を踏まえて、シーニックバイウェイ北海道推進協議会がシーニックバイウェイルートとして指定、もしくは候補ルートとして登録します。これにより、地域と行政が連携し、シーニックバイウェイルートにおいて景観その他の地域資源の保全・改善等に資する活動を円滑に実施することができます。

指定ルート：地域発案による「ルート運営活動計画」に基づき、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力的な観光空間づくりを行います。

なお、指定ルートは「行政連絡会議」が設置され、関係機関により各種活動への参加、連携した活動などが行われます。

候補ルート：ルート独自の地域活動を通して、地域の連携、人材の育成、地域資源の発掘などを進め、ルート全体の理念や目標の熟度を高めて、ルート指定を目指します。

シーニックバイウェイ北海道で行われている主な活動

シーニックバイウェイ北海道は、「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」を3本柱に、全ての参加主体がその個性を尊重しつつ、自発性、持続性、公開性、連携性を基本的姿勢とし、総合的かつ戦略的な活動を推進しています。

美しい景観づくり 活動団体や地域間の連携などにより、沿道景観をより魅力的にする活動

- 沿道の清掃活動
- 植栽活動による広域的な花ロードづくり
- 現地調査によるルート内の沿道景観診断
- 地域資源の広域的視察・発掘調査
- 広域的な看板の撤去・集約化や統一性のある看板整理の提案
- ビューポイントの調査・維持管理



植栽活動



沿道の清掃活動

活力ある地域づくり 地域資源を生かしたまちづくりの勉強会など、地域の誇りを育む活動

- まちづくりのシンポジウムや講演会などの開催
- 沿道景観をテーマにしたフォトコンテストの実施
- 歴史的建造物など、地域資源を生かしたまちづくりの勉強会
- 外国人旅行者へのホスピタリティ向上のための英会話講座
- 周遊ルートづくりや気軽に立ち寄れる案内所の開設



ご当地風土アドバイザー
(ライフコンサルジュ)



阿寒湖フォトコンテスト2023 最優秀賞「星降る夜明け」(新免 泰氏)

魅力ある観光空間づくり 旅行者の満足度向上を目指し、観光メニューの創出、イベントの実施、情報発信など

- 地域を再発見、紹介するツアー、イベントの開催
- 冬のビューポイント、冬の観光メニューの調査・開発
- ビューポイントを紹介したフリーペーパー、マップ、ホームページ、英語版ガイドブック等の作成
- メーリングリストによる活動団体の情報共有、意見交換



南区 冬の雪あかり
2024(定山溪地区)



宗谷Stay&Activity事業 カヌー体験会(大沼)

●シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイ北海道推進協議会とは

シーニックバイウェイ北海道推進協議会は、シーニックバイウェイ北海道制度の運営を行うための各種決定・改善・支援及び全道レベルでの公的機関・団体との組織連携を図りながらシーニックバイウェイルート・候補ルートの指定を行っています。さらに決定したルートを持続的、効果的に促進させていくための調査・研究を行います。

シーニックバイウェイ北海道推進協議会の3つのポイント

01:全道レベルの公的機関・団体の連携組織

02:シーニックバイウェイ北海道制度の運営(シーニックバイウェイルート、候補ルートの指定・改善・支援)

03:持続的推進のための調査・研究等、並びに効果的促進



●構成機関の取り組み事例



シーニックバイウェイ「秀逸な道」

シーニックバイウェイ北海道では、道路を地域の観光資源として活用することにより、北海道のドライブ観光を促進し、「世界トップクラスの観光地域」を目指します。

「秀逸な道」とは？ 地域が推薦する特に魅力的な景観等を有する道路を「秀逸な道」と定め、道路管理者と地域が協働して重点的に磨き上げ、地域の観光資源として活用する取組です。

「秀逸な道」の選定ポイント 道路を走って魅力的道路脇の景観が魅力的道路自体が魅力的



シーニックバイウェイ「秀逸な道」は、シーニックバイウェイ北海道の各ルートの中でも特に魅力的な景観等を有する道路です。各ルートの活動団体の推薦をもとに、シーニックバイウェイ北海道推進協議会が認定しています。令和7年4月現在、15の選定区間と4つの候補区間があります。シーニックバイウェイ「秀逸な道」では、多様な主体の連携のもと、ハード・ソフトの景観形成・維持の取組等により、観光資源としてさらに磨き上げ、その魅力を発信することでドライブ観光客の誘客を促進していきます。





シーニックバイウェイ「秀逸な道」選定区間



1 支笏湖ブルーに出逢う道
[千歳市] 国道453号(延長:9.0km)
支笏洞爺ニセコルート<ウェルカム北海道エリア>



2 洞爺湖の美しさ、火山の迫力を感じる道
[洞爺湖町] 国道230号(延長:13.9km)
支笏洞爺ニセコルート<洞爺湖エリア>



3 美しく変化する羊蹄山の稜線に寄り添う道
[倶知安町・京極町・喜茂別町] 国道276号(延長:22.0km)
支笏洞爺ニセコルート<ニセコ羊蹄エリア>



4 十勝岳と四季を彩る花々に出会う道
[上富良野町] 国道237号、町道西11線道路(延長:14.4km)
大雪・富良野ルート



5 一面の流水が織りなすグレートネイチャーを体感する道
[斜里町] 国道334号(延長:22.9km)
東オホーツクシーニックバイウェイ



6 秀峰・利尻山を望む道
[稚内市] 国道238号(延長:8.0km)
宗谷シーニックバイウェイ



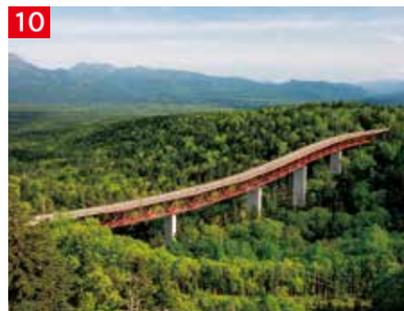
7 大地の息吹を感じる宗谷周氷河(宗谷丘陵)の道
[稚内市] 国道238号、道道889号、市道(延長:18.5km)
宗谷シーニックバイウェイ



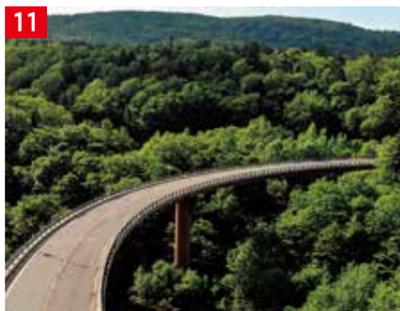
8 美幌峠と屈斜路湖を風のように吹き抜ける道
[弟子屈町] 国道243号(延長:18.1km)
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ



9 大自然の中を一直線に貫く中標津ミルクロード
[中標津町] 町道 武佐北19号道路、町道 開陽台観光道路(延長:7.8km)
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ



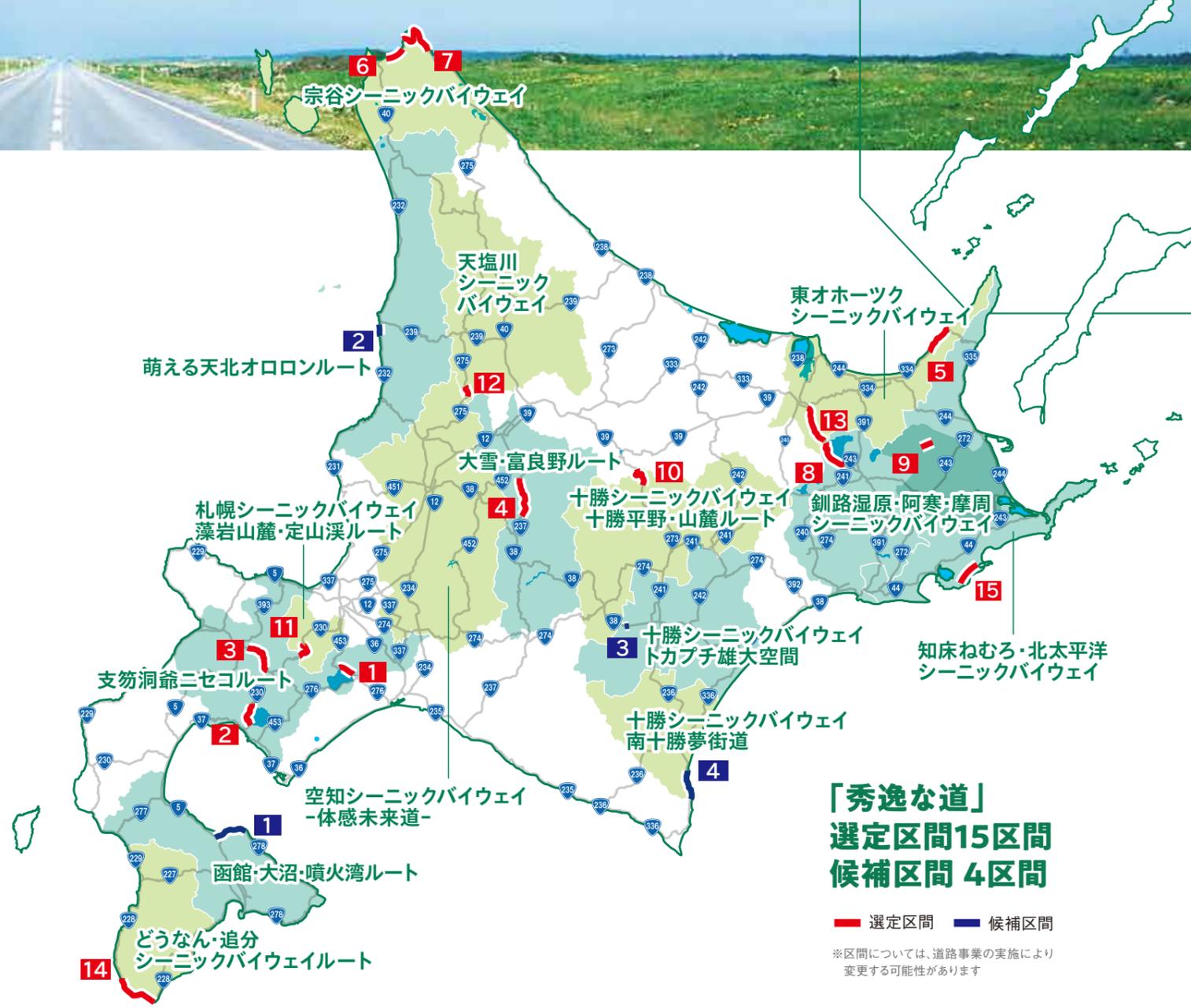
10 樹海に佇む天空の道
[上士幌町] 国道273号(延長:13.0km)
十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート



11 森を抜ける公園のような道
[札幌市] 国道230号(延長:10.0km)
札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山渓ルート



12 日本一のそば畑を走る道
[幌加内町] 国道275号、町道 新成生南三号線/平和基線(延長:4.6km)
天塩川シーニックバイウェイ

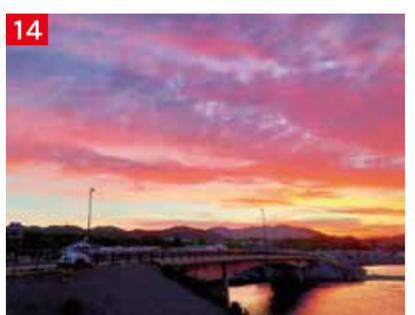


「秀逸な道」選定区間15区間 候補区間 4区間

— 選定区間 — 候補区間
※区間については、道路事業の実施により変更する可能性があります



13 並木のウェルカムゲートを抜けて絶景へと至る道
[美幌町] 国道243号(延長:23.4km)
東オホーツクシーニックバイウェイ



14 夕風薫るいにしへの道
[松前町] 国道228号(延長:18.9km)
どうなん・追分シーニックバイウェイルート



15 北太平洋と湿地の風土に息づく自然と漁業の道
[浜中町・厚岸町] 道道123号 別海厚岸線(延長:16.1km)
知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

シーニックバイウェイ「秀逸な道」候補区間

- 1** 函館・大沼・噴火湾ルート
国道278号
- 2** 萌える天北オロロンルート
国道232号
- 3** 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
国道38号
- 4** 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道
国道336号

ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト

シーニックバイウェイ北海道推進協議会は、シーニックバイウェイ北海道の「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」の活動において、他の模範となり、将来への発展性が高く評価できる活動を選出・表彰する取り組みとして「ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト」を2008年度から実施しています。表彰は、活動団体の投票で選出する【活動団体賞】、有識者委員の審査を経て選出する3つの【部門賞】及び各部門賞から最も優秀な活動を【最優秀賞】として決定・表彰しています。



※詳細は、シーニックバイウェイ北海道推進協議会HPをご覧ください。

ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2023 2024年12月9日 第22回推進協議会にて決定



〈最優秀賞〉〈美しい景観づくり部門賞〉

サスティナブルな景観づくりマスタープランの再構築と実施 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

平成30年度からルート内の全エリアで景観診断を再度実施し、改善不能箇所や新たな課題箇所の抽出、評価を行いました。新しい景観づくりマスタープランでは、評価結果を元に各景観課題箇所を優先度別に4つに分類し、対応ルールを明記するとともに、フォローアップ調査や次回景観診断などの時系列的なルールも定め、持続的に景観を改善する仕組みとしました。結果として、令和5年度までに18箇所で見守り改善が実施されています。



景観改善の例



改善前



改善後



改善前



改善後

◀上：景観診断の様子（中標津町）
下：優先対策検討箇所の清掃活動の実施（釧路市）



〈活力ある地域づくり部門賞〉

～地域との連携・企業との連携 そして国際的サイクルエリアを目指して～ どうなんサイクルツーリズム推進事業 どうなん追分シーニックバイウェイルート

交通過疎地域の道路の活用・SDGs・観光に着目し、ルート最大の魅力である歴史・文化をもっと楽しんでもらうために広域のサイクルツーリズムを2018年より本格的に進めてきました。官民連携での交流人口の拡大・地域経済の活性化やサイクリングの環境整備を目的とした際に、エリア連携の他に地域活動団体である函館バスや道南いさりび鉄道との試行や老舗和菓子店との企業連携を行ってきました。そして、2023年度北海道サイクルルートの登録がなされ、2024年9月にこれらの繋がりを実践的に活かせる国際大会「アイアンマンジャパンみなみ北海道大会」開催の実現に至りました。



左上：サイクルトレインの試行（道南いさりび鉄道）
左下：地域企業との連携（五勝手屋羊羹）
右：チャリ旅みなみ北海道ツアーの様子



〈魅力ある観光空間づくり部門賞〉

『天塩川』を軸とした地域資源・活動PRと 歴史文化の伝承 天塩川シーニックバイウェイ

当ルートのメインリバー・天塩川を軸に、地域の人たちが地域の歴史・文化を学ぶきっかけになること、次世代の人たちへの伝承、松浦武四郎ファンへの働きかけにより当該地域のファンを増やしていくことを目的に、＜天塩川と武四郎＞による“歴史”を主軸としたヒストリックな取組をスタートしました。三重県松阪市で開催の「第29回松浦武四郎まつり」にて、北海道遺産と連携したPRブースを設け、シーニックバイウェイの取組の紹介や北海道のドライブ観光などのPRを行いました。雨天にも関わらず、北海道に興味関心のある人、住んでいた人、天塩川でカヌーをしたことがある人など、様々な想いを持って立ち寄ってくださいました。松阪市民の武四郎に対する想いや知識も豊富で、北海道との繋がりを感ぜられる良い時間となり、今後も引き続き取り組んでいきたいと思っております。



左：武四郎まつり会場での様子 右：音威子府村の活動団体nociw（ノチウ）のブースでは、天塩川流域の特産品を販売 左下：石狩鍋のような具材に甘い味噌の「武四郎鍋」



〈活力ある地域づくり部門賞〉

流雪溝活性化プロジェクト 萌える天北オロロンルート

苫前町古丹別地区流雪溝は、高齢化や空き家・空き店舗の増加等から流雪溝利用率が低下し、沿道に積もった雪山により日常生活・道路交通に支障をきたす状況です。平成27年度より雪処理の担い手確保に向け、「流雪溝インフラツーリズム」の商品化を試行し、交流・関係人口の拡大のアプローチから課題解決を試みてきました。コロナ禍を経て、現在は町内の共助力の底上げを図るとともに、同様の課題を抱える増毛町との地域間共助を推進し、流雪溝の活性化を通して、住み続けたい地域づくりを両町と目指しています！



上：一斉投雪作業の様子 左下：苫前町古丹別地区 右下：増毛町



〈活動団体賞〉

～「流水を見ながらドライブを」 地域のおもてなし活動を継続中～ R334ガードレールの雪かきボランティア活動 東オホーツクシーニックバイウェイ

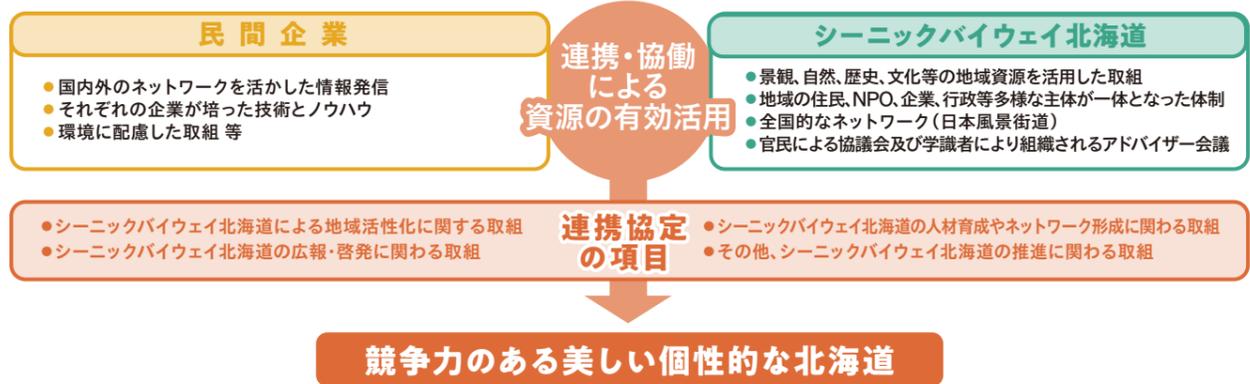
冬期の知床を訪れる観光客や来訪者の皆さんに、ドライブする車窓から流水景観を楽しんでもらおうという目的で、道路管理者や沿道の地域団体、民間企業等が連携した、おもてなしの取り組みです。通常の歩道除雪では取りきれないガードレールに残った雪を、ボランティアで集まった皆さんがスコップなどで除雪し、貴重な観光資源でもある国道からの流水景観を確保します。令和4年には「手づくり郷土賞（大賞部門）」も受賞しました。



雪かき作業の様子

民間企業等との包括連携協定

シーニックバイウェイ北海道では、競争力のある美しく個性豊かな北海道を実現していくことを目的として、民間団体・企業等と、北海道固有の景観、自然、歴史、文化、レクリエーション資源等地域資源を最大限活用し、双方の、資源を有効活用した効果的連携活動として、連携に関する包括協定制度を平成24年度より開始しました。



●包括連携協定企業との連携取組事例

(株)トヨタレンタリース札幌
(平成24年12月1日締結)

- シーニックドライブマップ、ScenicByway(ドライブ観光情報紙)での企業広告
- トヨタレンタリース札幌 札幌駅前店、新千歳空港ポプラ店でのシーニック展示ブース設置 他



写真: 正面受付カウンター上部壁面への景観パネル設置(新千歳空港ポプラ店)

Follow Me Japan Pte.Ltd.
(平成24年12月1日締結)

- シーニックルートを巡るドライブツアー企画
- シーニックルートを巡るサイクリングツアー企画
- シンガポール旅行商談フェアでのPR



写真: シーニックルートを巡るサイクリングツアーを企画(支笏洞爺ニセコルート)

北海道コカ・コーラボトリング(株)
(平成24年12月1日締結)

- 景観に配慮したオリジナルデザイン自動販売機の設置協力
- ルートの清掃活動や植樹活動への協力
- ルート主催スタンプラリーへの賞品提供



写真: 寄付型自動販売機の設置し、ルートのポスターを展示

(株)グランビスタホテル&リゾート札幌 グランドホテル
(平成24年12月1日締結)

- ホテル館内でのシーニックバイウェイ北海道PR展示(継続事業/通年)



(株)デンソーソリューションズ北海道支社
(平成25年6月24日締結)

- シーニックバイウェイ北海道広報ツール(HP、冊子など)へマップコードの無償提供
- シーニックバイウェイの広報ツールへMapQRを提供



鶴雅グループ(株) 阿寒グランドホテル
(平成25年6月24日締結)

- 鶴雅グループ企業のパンデ・パンでの『釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ』の情報を発信



写真: 店内にシーニックバイウェイ北海道等のチラシを設置

(株)北海道日本ハムファイターズ
(平成29年10月24日締結)

- エスコンフィールドHOKKAIDO内「シーニックバイウェイ北海道パネル展」
- 北海道日本ハムファイターズ、道の駅、シーニックバイウェイ北海道の特別連携企画として、「ファイターズコラボ道の駅」で限定コラボグッズの販売、フォトパネルの設置等を実施



写真左: シーニックバイウェイ北海道パネル展 写真右: 限定コラボグッズ

(一社)北海道信用金庫協会
(平成30年11月5日締結)

- 「TEPPEN-RIDE2019」への協賛(サイクルツーリズム)
- 「スイス視察(スイス・モビリティとDMO調査研究)」、「スイスの観光に学ぶシンポジウム」への職員派遣等の支援



写真: 「TEPPEN-RIDE2019」サポートカーや休憩ポイントなど協賛企業のパネル掲示

(株)知床グランドホテル
(平成30年11月5日締結)

- 国道334号線沿いの雪かきボランティアや夏季道路路景観作りのための花植えボランティア
- 地域住民や観光客の交流ポイントを維持するための活動の賞品提供



写真: 国道沿い花壇の花植えボランティア

北海道地区「道の駅」連絡会
(平成30年11月5日締結)

- 支援センター発行「シーニックドライブマップ」に北海道地区「道の駅」連絡会監修のもと、全道の道の駅情報を掲載。全道の道の駅にて販売
- 「道の駅スタンプラリー」において、シーニックバイウェイ北海道及びシーニックバイウェイ「秀逸な道」を紹介



写真左上・右上・左下: スタンプラリー2024シーニックドライブマップ2024年度版

クリプトン・フューチャー・メディア(株)
(令和3年7月15日締結)

- 北海道全179市町村公認の地域密着メディア「Domingo」のHPやスマホアプリから継続的な情報発信を行う



写真: パネル展におけるシーニックバイウェイの展示やパンフレット配布

特定非営利活動法人北海道遺産協議会
(令和5年3月13日締結)

- 「秀逸な道」展「秋」@チカ・ホでのコラボ
- ドライブ観光情報誌「Scenic Byway」vol.30 寄稿



写真: パネル展におけるシーニックバイウェイの展示やパンフレット配布

SOMPO ひまわり生命保険(株)
(令和5年12月12日締結)

- シーニックバイウェイ北海道の景観保全活動(除草、除雪、清掃)等への人的支援
- 「千歳ウエルカム花ロード」の除草活動への人的支援
- 「ひまわりまつり」の来場者への記念撮影サービスなどの運営を支援



北海道エネルギー(株)
(令和5年12月12日締結)

- 各SS店舗内(道内85カ所)設置サイネージによるシーニックバイウェイ北海道のルートや取組紹介
- ドライブMAP内でのシーニックバイウェイ北海道のルートや取組紹介
- 北海道エネルギー公式SNSアカウント上でのシーニックバイウェイ北海道に関する情報発信



大和リース(株)北海道支店
(令和6年12月9日締結)

- 景観・観光空間づくりや地域づくりの活動支援
- 広報・PR等における会場提供
- 「認定NPO法人まちづくりスポット恵み野」と協働した地域課題の解決



写真: シーニックナイトの会場提供・活動参加

※詳細は、シーニックバイウェイ北海道推進協議会HPをご覧ください。



シーニックデッキ

地域の風景をゆったりと楽しんでもらうために、沿道に設置したデッキ(視点場)です。ルートおすすめの美しい景観を心ゆくまで堪能できます。



宗谷シーニックバイウェイ
サロベツ湿原センター展望デッキ
(豊富町)



十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
十勝が丘展望台
(音更町)

シーニックカフェ

地元ならではの魅力を味わえるシーニックカフェ。ルート活動団体主催の期間限定のカフェや、ルートおすすめの飲食店などです。



札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート
八剣山キッチン&マルシェ
(札幌市)



空知シーニックバイウェイ 体感未来道
Cafe KALAMA
(由仁町)

WELCOME 地元おススメの 景色や食を楽しむなら

シーニックデッキ・シーニックカフェへ!

★北海道内各地のシーニックカフェ・デッキ等の情報はこちらから▶▶▶

シーニックカフェには、プレートが設置されています

ビューポイント パーキング

ふと立ち止まりたくなるような北海道らしい酪農風景、田園風景、そして花畑など景観に優れた駐車場です。



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
摩周第三展望台
(弟子屈町)



大雪・富良野ルート
神居古潭駐車場
(旭川市)

★ビューポイントパーキングの情報は、北海道開発局HPをご覧ください。



シーニックバイウェイ情報拠点

ルート内の情報をチェックしたり、地域のパンフレットを入手できます。

どうなん・追分シーニックバイウェイルート 道の駅 みそぎの郷きこない (木古内町)



函館・大沼・噴火湾ルート 大沼国際交流プラザ (七飯町)



シーニックの森づくり

●シーニックバイウェイ北海道における環境配慮の取り組み

「シーニックの森づくり」は、シーニックバイウェイ北海道の取り組みを通して、CO₂吸収源となる森づくりを行うもので、観光客の皆さんをはじめ、地域住民、NPO、関係機関が連携して森づくりを行っています。現在、全道には4箇所のシーニックの森があります。

●シーニックの森づくりが目指すもの

▶訪れる方との出会いを大切に育てたい

樹木は成長するほどCO₂の吸収量が飛躍的に増加します。観光客の皆様が植樹した木は、シーニックの森として成長していきます。自分が植樹した木に愛情を持ち、成長を現地に訪れて見てもらう。そんなつながりも育てていきたいと思っています。

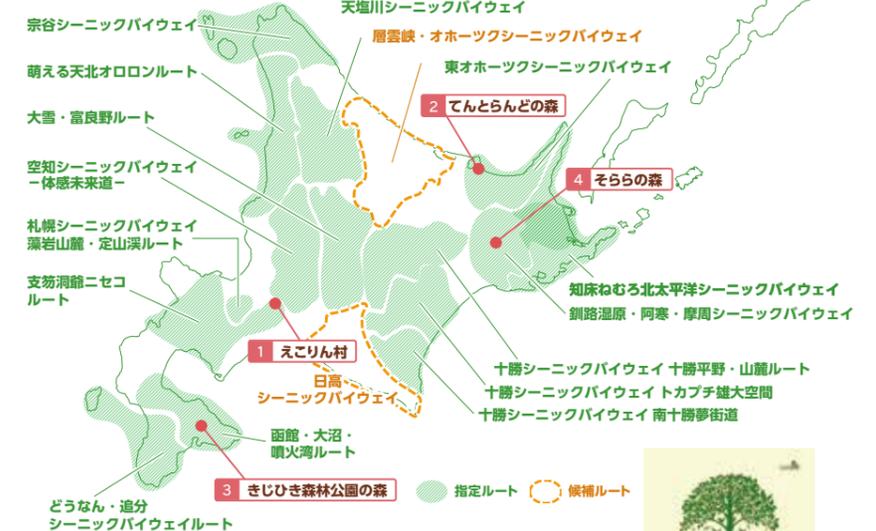
▶環境に優しい新しい旅の形を一緒に育てたい

多くの人に地域の宝を見てもらうためには、車の利用が必要となりCO₂をどうしても排出してしまいます。多くの人に森づくりに参加してもらい、楽しみながら環境にも優しい、新しい旅の形を広めていきたいと思っています。

▶地球環境のことを考えるきっかけにしてほしい

成長が早いといわれているトドマツは30年間で約12mの高さに成長しますが、固定できるCO₂の貯蔵量は1本あたりガソリン約70Lにすぎません。日々の生活でのCO₂削減を考えるきっかけになってほしいと思っています。

●シーニックの森認定までの流れ



現在、4つの「シーニックの森」があります

シーニックの森の認定、カーボンオフセットの認証等の対応は、(一社)シーニックバイウェイ支援センターが行っています。

シーニックの森認定証▶



●シーニックの森の取り組み

みんなで育てるシーニックの森

シーニックバイウェイ北海道の各ルートでは、景観づくり、自然復元、体験学習や交流等を目的としてCO₂吸収源となる森づくりを行っています。



シーニックバイウェイ・カーボンオフセット

シーニックの森の取組みのひとつとして、ドライブ観光などで排出されたCO₂をオフセットするために、観光客が費用を負担して、シーニックの森に植樹するシーニックバイウェイ・カーボンオフセット※を行っています。

※カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動において排出されるCO₂等の温室効果ガスを、削減努力を行った上で、それでも排出される量に見合った削減活動(植樹等)に投資することで埋め合わせるという考え方です。

(一社)シーニックバイウェイ支援センター(略称:リソースセンター)は、シーニックバイウェイの理念を浸透させるための広報活動を行います。また、活動の活性化に不可欠な民間と行政との連携を図り、これらの連携を専門的な観点から支援する組織として、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりに貢献します。

●シーニックバイウェイ支援センターの目的

日本におけるシーニックバイウェイの持続的な推進・普及・発展を支援することを目的としています。

●シーニックバイウェイ支援センターの事業内容

1. シーニックバイウェイに関わる情報共有・発信・連絡
2. シーニックバイウェイに関わる各種調査・研究
3. シーニックバイウェイに関わる広報・プロモーション
4. シーニックバイウェイに関わる人材育成・教育・資格認定
5. 各種団体の連携を促進するためのコーディネート
6. 前各号に掲げる事業に付帯または関連する事業

●主な業務

- ・ホームページの運用
- ・メールマガジンの運用
- ・各種出版物の発行
- ・広報誌の発行
- ・シーニックフォト倶楽部の運営
- ・勉強会の開催
- ・ビジネスモデルの開発
- ・ロゴマークの管理委託
- ・刊行物等の制作・販売
- ・視察の企画・受け入れ
- ・米国視察企画
- ・シーニックドライブマップ
- ・「シーニックの森」の認証

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル
 【電話】011-708-0429 【FAX】011-708-0430
 【E-mail】info-sc@scenicbyway.jp
 【URL】http://www.scenicbyway.jp/

シーニックバイウェイ北海道は、2024年度グッドデザイン賞を受賞しました!
 The following design is awarded GOOD DESIGN AWARD 2024

《審査委員の評価》 訪れる側としては、ともすると高速道路だけで移動してしまう広大な北海道を楽しむ上で心強いガイドとなる取り組み。そして沿道に住む人の側としては、景観を作る、沿道環境の整備という視座を得ることで地元への意識や関わり方も変わる取り組み。まさに「景観」「観光」「地域」という三つの要素が連動し相乗効果で改善されていく、長年続く素晴らしいエコシステムデザイン、取り組みである。



左:2024年度グッドデザイン賞受賞展の様子 右:賞状



左:北海道のよしみドライブ情報誌「Scenic Byway vol.34」 右:「シーニックドライブマップ2025年度版」

シーニックバイウェイ北海道 Q&A

どうして「シーニックバイウェイ北海道」に取り組むことになったのですか?

北海道をドライブする個人型の旅行が人気となっています。アンケート調査によると、その一番の目的は「景観を楽しむこと」。このため、景観をもっとよくなり、守ったりすることが、これからの北海道観光を振興し、地域を元気にするために重要な取り組みあると考えました。そしてこの取り組みを進めるにあたって、行政が参加しながらも、地域の方々が自らの発案により行うことが、成功させるためには必要と考えました。このため、平成15年、16年に地域の方々と行政が連携して様々な取り組みを試行的に実施し、その成果を踏まえ、平成17年3月より「シーニックバイウェイ北海道」として本格的にスタートしたところです。

なぜ「シーニックバイウェイ」という名称なんですか?

「シーニックバイウェイプログラム」はアメリカで先行的に取り組まれている制度ですが、これを参考にしつつも、北海道にあった仕組みとしたため、アメリカのものとは異なる制度となりました。しかし「政府が進めるビジョン2050の一環として外国人観光客へのPRをしやすいこと」「日本語の概念にない取り組みであること」「寄り道(バイウェイ)という概念がよいこと」などの理由から、学識経験者や観光の専門家からなる委員会にて「シーニックバイウェイ北海道」と命名されました。なお、現在、全国を対象とした「日本風景街道」という取り組みが広がっているところです。

日本風景街道とは?

「日本風景街道(シーニックバイウェイ・ジャ

パン)」は、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」といいます。令和6年2月現在、全国で合計145ルートが登録され、その中にシーニックバイウェイ北海道のルート(指定ルートのみ)も含まれています。日本風景街道は、全国の様々な活動を通して地域活性化、観光振興を推進しています。

地域の方々の発案が必要というのはどうしてですか?

沿道の景観を作っているのは、農業や林業、街中の商店街など地域の方々の方々の営みです。地域の方々が元気に暮らし、経済的にも豊かになり、地域生活の営みが維持されることが、そのまま沿道の風景の保全につながると思われまます。これら「景観」「観光」「地域」という三つの要素を(道)を通して連携させ、地域を元気にして望ましいと考えます。

中心となっているのは誰ですか?

活動の中心は地域の方々です。この取り組みは「みち」をきっかけとして、地域の方々の主体的な取り組みを「シーニックバイウェイ北海道推進協議会」という総合的な組織でバックアップするものです。「シーニックバイウェイ北海道推進協議会」は、北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、北海道観光振興機構などの道内の経済団体、北海道や国の出先機関などの行政機関等で構成され、事務局はこの取り組みを始めた国土交通省の地方支分部局である北海道開発局が担当しています。

支援組織の「シーニックバイウェイ支援センター」って何ですか?

シーニックバイウェイにかかわる情報共有、発信、

連絡、及び広報、プロモーションと各ルートの活動へのアドバイスを行うため平成17年7月に設立されました。シーニックバイウェイ北海道推進協議会の実施要綱・第17条で定める基本方針に基づき、支援組織として指定されています。

この取り組みに参加するとどんな支援があるのですか?

指定ルートでは、「行政連絡会議」が設置され、関係機関により、各種活動への参加、連携した活動などが行われるとともに「シーニックバイウェイ支援センター」によって、広報・プロモーションなどが積極的に行われます。また、候補ルートでは、指定ルートの申請に必要な「ルート運営活動計画」を地域の方々が作成するにあたり、ワークショップの開催や参加など運営計画策定のお手伝いを関係機関が行います。

どうして「秀逸な道」に取り組むことになったのですか?

平成28年3月に閣議決定された「第8期北海道総合開発計画」では、北海道において、アジアの中でも特徴的に魅力的な観光資源を活かしながら「世界水準の観光地」を目指すこととしており、このため、各地域における景観等の地域資源を世界に通用するレベルまで磨き上げる取組を促進することとしています。これを踏まえ、地域景観の保全・活用により「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」を総合的に推進する「シーニックバイウェイ北海道」の取組の一環として、魅力的な景観等を有する道を地域の観光資源として活用する、シーニックバイウェイ「秀逸な道」の取組を開始することとしました。

Scenic Byway HOKKAIDO

走りたい道がある。会いたい人がいる。私だけの風景がある。シーニックバイウェイ北海道。

雄大な北海道。

その景観をより美しく、地域をもっと元気に、そして観光空間には更なる魅力を。

シーニックバイウェイ北海道は、みちが繋ぐ美しい北海道づくりを目指し、活動しています。

まだ知らない、北海道のみちへ。いつもの風景から、まだ見ぬ景色へ。

走りたい道に、きっと出会えるはず。

支笏洞爺ニセコルート



美しい湖と秀峰、火山に出逢えるルート

支笏洞爺国立公園とニセコ積丹小樽国立公園の2つの国立・国定公園を走る支笏洞爺ニセコルートは美しい湖と秀峰、火山に出逢える地域です。支笏洞爺ニセコルートは3つのエリアで構成されています。



国道453号(千歳市支笏湖)



えにわシーニックナイト(ウエルカム北海道エリア)



清掃活動 1008453(とうやまごさん)キャンペーン(洞爺湖エリア)



学官地域連携によるビューポイント魅力アッププロジェクト(ニセコ羊蹄エリア)



国道237号(上富良野町深山峠)

大雪・富良野ルート

02

四季を彩る花人街道

大雪山・十勝岳連峰の裾野と山懐を通るルートです。パッチワークのように美しい丘陵田園やラベンダーなどの花々に彩られ、映画やドラマ、CMの舞台となっています。ジャガイモや麦など良質の農産物にも恵まれ、十勝岳温泉や吹き上げ露天風呂など数多くの温泉がわき、ゆったりと心が癒される環境です。



沿道の清掃活動「ゴミゼロキャンペーン」(上富良野町)



十勝シーニックバイウェイと北海道ガーデン街道協議会と連携した「人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト」



道北のシーニックバイウェイルートが連掲 フォトコンテスト



国道238号(稚内市声問)

宗谷シーニックバイウェイ

04

あたたかい最北のみち

利尻礼文サロベツ国立公園を有するルート。秀峰利尻富士、水平線までつづくサロベツ湿原、海拔0mから高山植物を見ることができる礼文島、雄大な周氷河地形の宗谷丘陵など厳しい環境に育まれた豊かな自然が残る地域です。また自然を活かした広大な酪農場、豊かな漁場もあり、食による感動も与えてくれる日本最北エリアを形成しています。



自転車を車内に積み込める「宗谷アクティブバス」の運行



宗谷の自然を活かしたサイクルツーリズムの推進



秀逸な道 宗谷ヒストリーロードの清掃活動



東オホーツク シーニックバイウェイ

03

ロマンティックヒーリング・ 風を感じて走る道

知床、阿寒摩周の2つの国立公園を有するルートです。広大な畑地景観、野趣あふれる山岳、ハクチョウが飛来する湖沼、原生花園、豊富な味覚、明瞭な四季など北海道観光のよさが凝縮された地域。我が国唯一の流氷地帯でもあり、人々に感動を与えてくれる憧れの地として道内外から多くの観光客が訪れています。



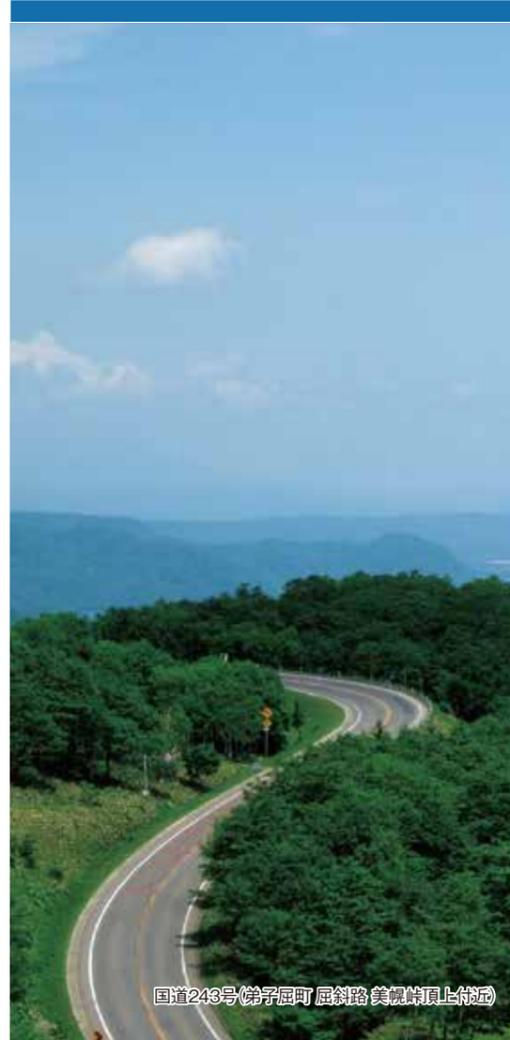
「秀逸な道」区間での清掃・剪定活動(美幌町)



ガードレールの雪かきボランティア活動(斜里町)



シーニックマルシェの開催とPR活動



国道243号(弟子屈町 屈斜路 美幌峠頂上付近)

釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ

05

神秘的で優れた自然のあり様を 五感で感じるダイナミックルート

釧路湿原国立公園や阿寒摩周国立公園をはじめとする世界的な観光地を含むルート。手付かずの自然が残るラムサール条約登録湿地、釧路湿原を中心とした釧路湿原エリア、雄大な山岳自然景観に囲まれ、マリモの眠る阿寒湖を中心とする阿寒湖エリア、原始林に囲まれた神秘的な湖、摩周湖や屈斜路湖を含む弟子屈エリア、なだらかな牧草地と格子状防風林が独特の開放感を醸す中標津エリアの4つのエリアで構成されています。



左: 阿寒湖フォトコンテスト2023 最優秀賞作品「星降る夜明け」(新免泰氏)

右下: たんちょう釧路空港での写真展の様子(釧路市)



「秀逸な道」中標津シルクロードと開陽台での清掃活動(中標津町)



永山峠でのヒストリックバイウェイの活動(釧路市・弟子屈町)



基坂(もといざが 函館市)

函館・大沼・噴火湾ルート

06

人と人をつなぐ道

空路・海路・鉄路における北海道の玄関口を持ち、“北海道において北海道にあらず、されど東北にあらず”の独特な土地柄を体感できます。函館山をとりまく異国情緒あふれる街並み、乗馬やカヌーなどの自然体験ができる大沼周辺、古代ロマンあふれる縄文遺跡群などがあり、都市景観から農村景観、漁村景観と様々な姿を見せてくれます。また地域住民と来訪者の交流を深める企画として「シーニックdeナイト」、「シーニックの森づくり」、「シーニック清掃活動」などを開催しています。



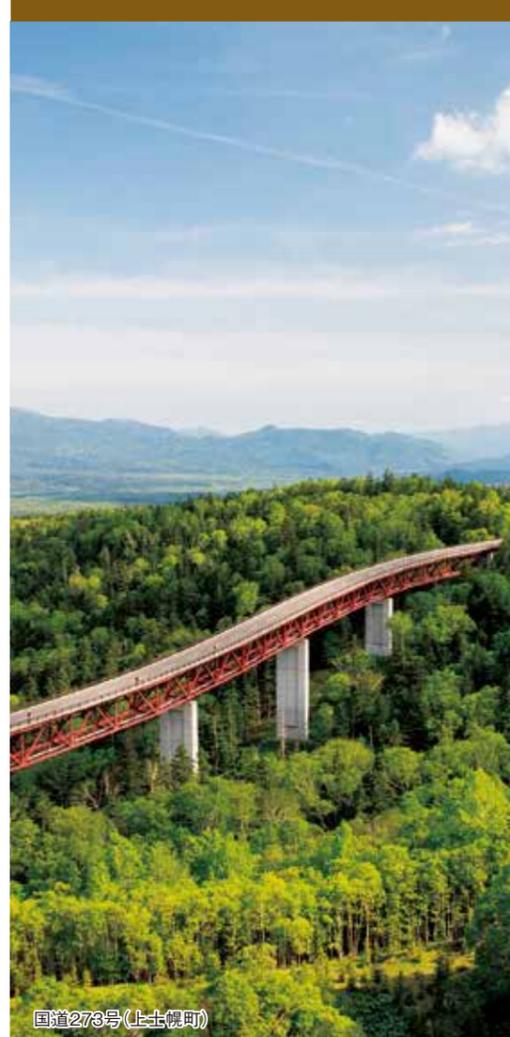
さむらフラワーロード花壇整備(森町)



上磯漁港ビーチクリーン活動(北斗市)



シーニックdeナイト(函館市)



国道273号(上士幌町)

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

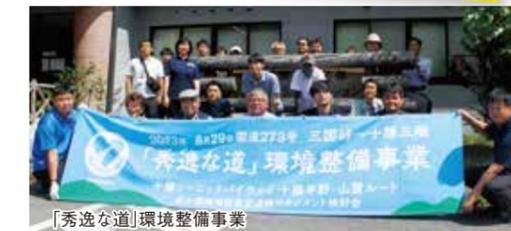
08

スケールは日本一 広さ・環境・ツーリズム・農

広大な十勝平野の西北部、日高と東大雪山の山裾を巡るルートです。希少な動植物が息づく原生林、訪れる人の心を癒す森と湖、エコツアーやグリーンツーリズムなどのあらゆる体験施設と、地域産業である「農」の素材を活かしたファームレストランなどが数多く点在し、食と農とアウトドアを満喫することができます。



山麓ルートマップ



「秀逸な道」環境整備事業



不要看板の再生と利活用(鹿追町)



人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト(上士幌町)



17

国道232号(苫前町上平)

萌える天北オロロンルート

07

暮らしぶりの映し。 北の光が続く道。

北海道北西部の日本海側に位置し、厳しく、そして美しい自然の中で営み続けてきた「暮らしぶりの映し」が魅力のルートです。日本海オロロンラインとしても親しまれ、暑寒別岳の山並みや、天売、焼尻島への眺望、夕日の海岸等、美しい自然景観があります。



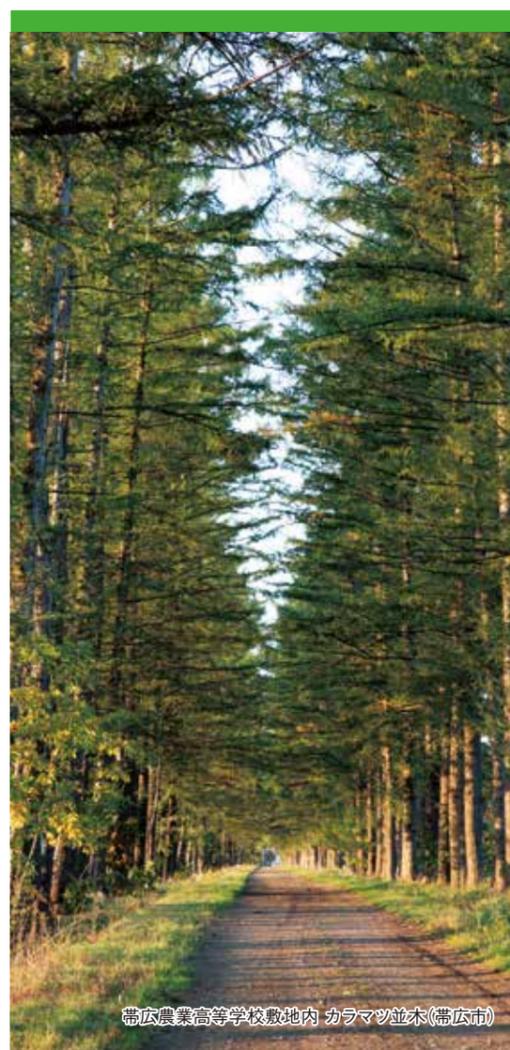
「秀逸な道」海岸・道路清掃活動(苫前町上平)



シーニックバイウェイ北海道道北ルート連携フォトコンテスト2024萌える天北オロロンルート賞受賞作品「フライングパンキン」(撮影者:松田孝氏)



オロロンライン・サイクリスト応援カー出発式(羽幌町)



帯広農業高等学校敷地内 カラマツ並木(帯広市)

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

09

十勝型産業の創出と 人口増加

北海道・十勝の空の玄関口である帯広市をはじめ、周辺の7町を含む十勝中部エリアは、中心に広大な十勝平野、西に日高山脈、東に太平洋という恵まれた資源を有します。広がる大地と大空という三次元空間に「先人の開拓の歴史」という時間軸を加えた、四次元空間の魅力が他にない見どころを提供するエリアです。



トカプチマップ
2024

情報ボックス



ふたりぼっちパスポート2024



ライフコンシェルジュの活動

18



国道336号(広尾町)

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

10

夢を育む海と大地と 清流のみち

十勝平野の南部に位置する3町2村で構成された「南十勝夢街道」は、雄大な日高山脈を望みながら、いくつもの清流を渡り広大な田園地帯から太平洋へと続く道をつなぐルートです。海と山と大地の魅力をも十分に味わうことができるエリアです。



シーニックカフェちゅうらい(標別町忠類)



人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト(中札内村)



左: フォトコンテストカレンダー 2025
右: フォトコンテスト審査会



国道228号(松前町 館浜)

どうなん・追分シーニック バイウェイルート

12

「ひと」と「みち」がつなぐ 北の大地の地域力再生への チャレンジ

北海道の中では多彩な歴史・文化を有し、海岸線にドラマチックな景観が広がる地域。9町の個性を活かした取組、そして豊かな資源で繋がる連携を進めてきました。北海道新幹線等による交流人口の拡大を目指し、「ひと」と「みち」がつなぐ地域の魅力を発信しています。



殿様街道探訪ウォーク(福島町千軒)



どうなんサイクルツーリズム推進事業(国道228号)



R228植栽活動チューリップ球根植栽(木古内町サラキ岬)



国道290号(札幌市南区定山溪)

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

11

「住んでよし、訪れてよし」の都市空間 ～都市と自然と 人が紡ぎ出す札幌の魅力～

札幌市の南西部、都心から30分～1時間の所に位置し、交通アクセスが良く、開拓時代からオリンピックまでの歴史、美術館、工房、科学館、大学などでの学びの体験や標高1000mを超える山、温泉、国営公園など雄大な自然でのキャンプ、スキー、カヌー、乗馬、森林散策、果物狩りなどの自然体験ができる「豊かな環境」とここに住む「人々の暮らし」が調和する魅力的なエリアです。



花いっぱい運動(真駒内地区)



スマホスタンプラリーの実施

札幌芸術の森(スタンプ設置スポット)

札幌もいわ山ロープウェイ・展望台(スタンプ設置スポット)



秀逸な道の清掃活動



国道275号(幌加内町新成生)

天塩川シーニックバイウェイ

13

北の大河に人と自然の調和が 織りなす道

主要幹線道路である一般国道40号とほぼ平行に、日本では希少な原始河川、且つ、北海道遺産にも指定された「天塩川」が流れている、自然環境豊かな地域です。冬には内陸性特有の厳しい寒さで、厳寒地がもたらすサンビラーやダイヤモンドダストなどの希少な自然現象を見ることもでき、ウィンタースポーツや冬期のオリジナルイベントなども活発に行われている魅力あるエリアです。



左: 「天塩川×武四郎」の取組
下: 武四郎ゆかりの地の現地調査、武四郎まつりin松阪市でのPR



広域サイクリングイベント「TEPPEN-RIDE」天塩川ルートのシーニックカフェ「cotoni」にて



Newシーニックカフェ 冬の観光案内所in道の駅森と湖の里ほろかない



知床ねむろ北太平洋 シーニックバイウェイ

14

世界中のトラベラーを癒やす、 最果ての自然と美食の絶景海道

日本の本土最東端のルートで世界自然遺産知床、5つのラムサール条約湿地といった世界に認められた自然を有しています。豊かな海がもたらす新鮮で美味しい魚介類、広大な牧草地で育まれた乳牛からの上質なミルクやチーズなどの乳製品があり、絶景と美食が魅力的なエリアです。



道道123号線(北太平洋シーサイドライン 浜中町琵琶瀬)



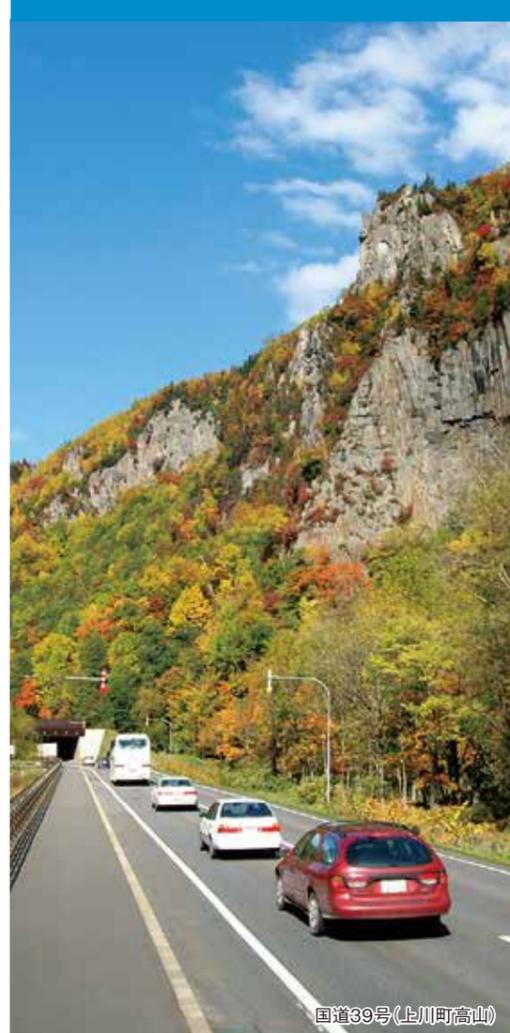
別寒辺牛湿原の清掃活動(厚岸町・国道44号)



エコモビリティで楽しむ!目指せ最東端ツアー・フットバス体験(根室市・明郷バス)



エコモビリティで楽しむ!目指せ最東端ツアー・トロッコ体験(別海町・旧奥行自駅)



国道39号(上川町高山)

層雲峡・オホーツク シーニックバイウェイ

16

【候補ルート】

山・海・花をめぐる 来る人住む人 幸せ感じる感幸地を目指して

- 山・海・花の優れた資源を活かした景観づくり
- 地域資源を活かした魅力ある観光空間づくり
- 自然環境と歴史・文化を礎にした活力ある地域づくり



ルート理事会



ルート情報を発信するニュースレターの発行



道央自動車道 砂川サービスエリアでのPR活動の実施



美しい景観が望める「シーニックカフェ」の登録(上川町・紋別市)



空知シーニックバイウェイ -体感未来道-

15

五感で「空ヲ知ル」

日本一の直線道路・国道12号を軸に広がる内陸地帯。田園風景の中でサイクルツーリズムや川下り、グライダー、炭鉱遺産ツアーなどのほか、ワイナリーや農家レストラン&カフェ、アートなど「五感で空知を知る」魅力的な体験が楽しめます。



21

国道12号(日本一の直線道路)



シーニックデッキ(奈井江大橋駐車帯)



シーニックキャラバン@北空知(北竜町・沼田町)



ソラ★スタスタンプラリー(道の駅×空知シーニックバイウェイ)



道道209号線 サラブレッド銀座(新冠町高江)

日高シーニックバイウェイ

17

【候補ルート】

日高の自然の恵みと 感動に出会う道

- 地域の歴史・自然環境を活かした景観づくり
- 地域の特性と文化を活かした地域づくり
- 地域産業と特性を活かした観光空間づくり



日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を考えるシンポジウム



花壇整備活動(新ひだか町三石ほか)



「越川・沙流川サイクリングコース定行会」の実施(かわたがほっかいどうとの連携)(日高町・平取町・むかわ町)



イザベラ・パードのフットパスコースにおけるガイド活動(日高町・平取町)

22